





© 相田みつを美術館

これは父の生き方そのものを表した言葉だと思えます。

父は、「人間、若いうちは心も体も柔らかい。自分も若いうちはそうだった。でも、ある年齢になってくると、どんなに頑張ったとしても、体も心も硬くなってきてしまう。でも、心だけは一生青春で、ずっと若々しくありたい。

そのためには、一生青春、一生青春と掛け声だけではだめだ。一生勉強がないと一生青春は無理だ」と言うのです。

つまり、「絶えず勉強しないと心の若さは保てない。一

生青春でありたいのなら絶えず勉強し続けないとだめだ。

一生青春と一生勉強は、二つで一つなので、どちらが欠けても成り立たない」と語っていました。

父はこれを視覚的にも表わしています。春の横棒が極端に長いですが、この横棒の上に一生勉強が乗っているのです。

父の中では、一生勉強と一生青春は同じものだったと思います。



### 第34回笠岡市人権文化祭 中止のお知らせ

今年度も、第34回笠岡市人権文化祭を開催するために準備をしておりましたが、現在全国で新型コロナウイルス感染症が拡大している状況です。参加者の安全優先のため苦渋の決断ではありますが、**今年度の人権文化祭は、中止します。**

なお、児童・生徒や講座生が製作した作品は、来年開催予定の人権文化祭で改めて展示する予定です。ご期待ください。

### 杉山文野さん講演会

本紙25ページ(左ページ)に掲載している人権まんが「未来ちゃん」は、人権文化祭の開催に合わせて作成したものです。人権文化祭の中止に伴い、杉山文野さんの講演会は日時と場所を次のとおり変更します。

**日時** 3月7日(日)14時開演

**場所** 中央公民館

※詳細はお問い合わせください

**問合せ** 人権推進課

☎(69)2120

人権  
まんが

未来ちやん

第58回 オリンピックとLGBT

作画 南一平

人権を考える日  
2021.2.13 13:00  
場所 吉田小学校体育館

今年の人権文化祭は  
杉山文野さんの  
講演があるんだ

初めての  
LGBTQ  
～性の多様性と人権～

講師 杉山文野さん  
1981年東京都生まれ。フェンシング元女子日本代表。トランスジェンダー  
早稲田大学大学院教育学研究科修士課程修了。2年間のバック  
パッカー生活で世界的50カ国へ南極を回り、現地で様々な社  
会問題と向き合う。  
日本最大のLGBTプライドパレードである特定非営利活動法  
人東京レインボープライド共同代表理事や、日本初となる所台  
区・両国・大塚・三軒茶屋・新大塚に跨り、渋谷区渋谷区  
多様性社会推進協議会委員も務める。  
現在は一児の父として子育てにも奮闘中。

人権文化祭実行委員会 五岡市教育委員会  
お問合せ 五岡市人権推進課 (0865)69-2120  
五岡市文化会館 (0865)65-1069



東京オリンピックの基本コンセプトの一つに、「多様性と調和」があります。大会を契機にトランスジェンダーの選手が注目されることで、性的少数者への理解が深まり、多様性を認め合う調和の取れた豊かな社会の創造が望まれています。

この背景には、2014年にオリンピック憲章が改定され「性的指向」(恋愛対象が異性、同性、男女両方かという概念)によって差別されてはならないと改正されたことや、2016年には、性別適合手術を受けていなくても出場できるよう基準が緩和されたことが挙げられます。

今年(2021年)の7月から始まる東京オリンピックで注目されていることがあります。LGBTなどの性的少数者のうち、トランスジェンダー(心の性と身体の性が一致しない人)の女子選手が、初めて金メダルを獲得する可能性があるのです。

種目は重量挙げで、その選手は元男性です。現在の規定では、男性から女性に性別移行したトランスジェンダーの女性は、テストステロンという男性ホルモンの数値を、大会の1年前から基準以下に保つなどの条件を満たせば出場できます。